

令和5年度 事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、令和2年度に策定した地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき、「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営し事業を進めています。

計画の4年目を迎えた令和5年度は、引き続き、生活困窮者自立支援事業、成年後見支援センター（中核機関）の運営や法人後見事業、生活福祉資金貸付事業等、多岐にわたる多くの相談に対して迅速な対応に努めたほか、生活支援体制整備事業においては、「通いの場情報誌」第3弾を発行しました。

雪処理への支援においては、近年の豪雪傾向を受け、社協が行う除雪関連サービスの申込が年々増加する中、特に、除雪派遣サービスにおいては除雪作業にあたる作業員の確保に苦慮しましたが、これまでの募集方法に加え、試行的な取り組みを行った結果、希望する全ての世帯にサービスを提供することができました。

地域活動支援においては、愛のふれあい交流事業の「地域交流の集い活動」に対する助成金の特例措置を廃止し、コロナ禍以前の運用により支援しました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

目 次

基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	9
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	12
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	14
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	17
★会務の運営、基本計画以外の主な活動		23

基本計画1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 広報活動による福祉情報の提供

①社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行(発行1回につき約42,000部)し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの配置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会・まちの灯の協力を得て、誌面を点字・音声化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

②ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新等、ホームページの利便性向上に努めました。

③社協事業活動の説明

・当協議会事業の説明を行いました。

令和5年 7月14日(金) 北翔大学(専門演習)

令和5年 8月23日(水) 上江別きららクラブ

令和5年12月15日(水) 北翔大学(就業力特別演習)

・民生委員児童委員地区会や市民団体へ歳末見舞金品贈呈事業の説明を行いました。

令和5年 9月13日(水) 江別東地区民生委員児童委員地区会

令和5年 9月14日(木) 江別北地区民生委員児童委員地区会

令和5年 9月15日(金) 野幌西地区民生委員児童委員地区会

令和5年 9月21日(木) 野幌北地区民生委員児童委員地区会

令和5年10月 6日(金) 江別南地区民生委員児童委員地区会

令和5年10月11日(水) 大麻東地区民生委員児童委員地区会

・「2023年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(2) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか関係機関と連絡調整を行い適切な対応に努めました。

また昨年度、受理した雪の処理情報誌掲載事業所への苦情について苦情対応事業第三者委員会にて対応を協議し、協議内容を今年度の情報誌作成に反映させました。

(3) 生活課題に対応した総合的な相談支援

①生活困窮者自立支援事業の実施(市受託事業)

くらしサポートセンターえべつ(以下「くらサポ」)では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明やブログでの情報発信など、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】

新規相談件数 345件、支援延べ回数 3,352回、プラン作成件数 71件

【支援調整会議】

市所管課（健康福祉部管理課）担当職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらしサポ相談支援員により自立に向けたプランの確認や事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数 43回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮状態にある相談者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関等が連携し情報共有を行うとともに、支援に必要な分野横断的なネットワークを構築するために平成28年度から継続開催しています。

今年度の会議は、くらしサポートセンターえべつからの事業報告と、それぞれの所属機関でのコロナ禍における現状や課題について情報共有を図りました。／開催回数 1回（21機関25人参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

- ・就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 5カ所
- ・無料職業紹介事業：求人登録数 1件、求職登録者数 0人、就労決定者数 0人
- ・江別市版中間的就労事業の実施：雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業3社と協定を結びプログラム化。／開催回数 30回、延べ参加人数 75人、作業料 108,139円

※中間的就労：一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明箇所数 7カ所

【居場所「シエスタ」の開催】

NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりを模索しました。また、市内各領域の支援機関へ参画を要請することにより、多機関協働で開催することができました。／開催回数 9回、延べ参加人数 183人

【ボードゲーム交流会の開催】

相談者や居場所シエスタ参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として月1回通年で開催しました。／開催回数 12回、延べ参加人数 46人

【家計支援実績】

家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数 新規 21件、延べ 223件、プラン作成件数 22件

【住居確保給付金】

離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

- ・実相談件数 34件、延相談件数 49件、支給決定件数 4件

②権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施（北海道社会福祉協議会受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 33件（新規5件 前年度比1件減）

【生活支援員登録者数】 33人（新規2人 前年度比1人減）

イ) 成年後見支援センター（中核機関）の運営及び法人後見事業の実施（市受託事業など）

成年後見支援センターでは、制度の普及や利用促進に努めるとともに、被後見人等への支援や、後見制度を必要とする対象者の早期発見に向けて等、地域の関係機関や専門職団体と連携を取りながら事業を推進しました。

また、令和5年度は、当協議会初となる任意後見に係る法人後見業務を受任しました。

【相談支援実績など】

新規相談件数 133件、延べ相談件数 649件、延べ相談支援回数 572回、申立支援件数 14件、後見開始審判の市長申立要請 6件、受任調整会議 5回

【法定後見の法人後見】 24件（令和5年度受任件数 6件）

【任意後見の法人後見】 1件

【市民後見人個人受任】 3件（令和5年度受任件数 1件）

【市民後見人フォローアップ研修】

・第1回：令和5年6月7日（水）参加者25人

「江別社協の法人後見等について」説明者：江別市成年後見支援センター 平塚巧也

「死後に関わる様々なことについて」講師：ディパーチャーズ・ジャパン株式会社 おくりびとのお葬式 波多野景士氏、たなか司法書士事務所 田中康仁氏、株式会社 Simazu 高野響子氏、保険会 Prudential 土屋竜馬氏、不動産会社 CENTURY 21 野村龍平氏

・第2回：令和5年12月12日（火）参加者21人

「制度過渡期における運用改善の動き」講師：東京大学特任専門職員 東 啓二氏、佐々木 佐織氏

【普及啓発】

・社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信

・出前講座の実施：北星大学実習生、えべつ明友荘、大麻悠々クラブ、札幌学院実習生

・地域向け講演会の開催：令和5年11月11日（土）於：江別市民会館 参加者137人

「司法書士による制度解説、事例解説を通して成年後見制度を学ぼう！～40人以上の後見人に就任した司法書士の視点～」講師：大桃涼輔氏（司法書士・土地家屋調査士）

【関係機関との会議等】

中核機関運営会議（10回）、江別市成年後見制度利用促進協議会（2回）、地域連携ネットワーク協議会（1回）

【登録管理】

・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施

・年度末登録者 市民後見人候補者 35人、後見支援員 35人

③生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、用途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

令和2年3月から開始となった新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）については、償還（返済）開始が本格化しており、償還免除や償還猶予の手続き並びに問い合わせへの対応に努めました。

一方で、特例貸付を申請しきった方からの相談において、その他申請可能な制度が限られることから、福祉金庫貸付制度を紹介するケースが多くなり、福祉金庫の申請が増加しました。

【相談者件数】

区 分	5年度	4年度	増 減
生活福祉資金	延 86 件	延 126 件	延△ 40 件
福 祉 金 庫	延 229 件	延 117 件	延 112 件
電 話	延 213 件	延 503 件	延△290 件
計	延 528 件	延 746 件	延△218 件

ア) 生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	5年度	4年度	増 減
福 祉 費	2 件 1,716,000 円	2 件 279,330 円	0 件 1,436,670 円
教育支援資金	18 件 21,221,000 円	14 件 11,648,000 円	4 件 9,573,000 円
緊急小口資金	0 件 0 円	115 件 22,750,000 円	△115 件 △22,750,000 円
総合支援資金	0 件 0 円	105 件 54,060,000 円	△105 件 △54,060,000 円
計	20 件 22,937,000 円	236 件 88,737,330 円	△216 件 △65,800,330 円

イ) 特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金（冬期生活資金）貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	5年度	4年度	増 減
貸付件数	1 件	0 件	1 件
貸付金額	50,000 円	0 円	50,000 円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	5年度	4年度	増 減
貸付件数	83 件	58 件	25 件
貸付金額	3,040,000 円	2,142,000 円	878,000 円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】

江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 57件（前年度比14件減）

⑤ 生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

昨年度から継続している通いの場調査は、訪問のほか電話での聞き取りも行い、コロナ禍の影響や現状をまとめたほか、通いの場情報誌第2弾の更新版となる第3弾を発行しました。

また、通いの場調査や地域課題の検討を通して、引き続き「高齢者の移動手段の確保、運転免許返納後の生活への不安」への対応が必要と考え、バスの活用や運転免許返納後の暮らしについて情報提供する市民向け学習会を開催しました。

その他、総合社会福祉センターロビーへの掲示や、社協広報誌にて市内で活動している通いの場の情報を掲載（シリーズ化）することを通じ、市内における活動例の周知に注力しました。特に、コロナ禍の影響を受けて活動を模索している通いの場や自治会に向けて、訪問時や協議体などの様々な場面で活動例の情報提供を行いました。

【会議への参加】

第1層・2層生活支援コーディネーター会議、第1層協議体など 24回

【研修会等への参加】

事業展開に関する情報交換研修への出席など 10回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】

江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 94回

【地域活動への参加】

地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 119回

【第2層生活支援コーディネーターとの協働】

情報交換、地域課題への対応、第2層協議体への参加など 23回

【問合せ対応】

個人・団体や事業所からの問合せ対応（通いの場参加希望者への情報提供、連絡調整、貸出物品利用申込みへの対応）など 62回

【学習会・出前講話等】

主催した市民向け学習会、講話依頼を受けての訪問など 2回

【その他】

広報活動、会議録・書類作成など 31回

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	5年度末	4年度末	
団 体	61団体 1,394人	60団体 1,377人	1団体 17人
個 人	188人	167人	21人
計	1,582人	1,544人	1団体 38人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設での行事やレクリエーション支援、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延活動人数		増 減
	5年度	4年度	
高齢者施設	1,632人	49人	1,583人
障がい者施設・団体	30人	18人	12人
在宅高齢者	636人	527人	109人
在宅障がい者	133人	135人	△2人
託児	34人	56人	△22人
子ども・地域食堂	283人	238人	45人
児童・学校	26人	4人	22人
相談	124人	121人	3人
病院	0人	0人	0人
その他	363人	133人	230人
合 計	3,261人	1,281人	1,980人

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 2, 579人

(登録ボランティア 1,317人/愛のふれあい活動 760人/自己加入者 502人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】 61団体 1, 172, 000円

【民間助成金団体】

- ・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金/6団体
「江別車いすボランティア整備」「江別更生保護女性会」「夢一座」「朗読ボランティアグループ
まちの灯」「あおむし人形劇団」「語り・ひとり芝居グループうるうる亭」
- ・公益財団法人大和証券福祉財団 第30回ボランティア活動助成金/2団体
「北海道カーリンコン協会」「朗読ボランティアグループまちの灯」

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し市民にお知らせしました。また、ボランティア団体連絡会内の連絡手段として、昨年度よりラインワークスを取り入れ、活用の推進を図りました。

【総会及び役員会】

- ・開催日 令和5年6月29日(木)
- ・場 所 総合社会福祉センター

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者であるボランティア登録団体・個人を対象に、「災害ボランティア学習会」を実施しました。

【災害ボランティア学習会】

- ・開催日 令和6年3月21日(木)
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・参加人数 34人

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

- ・開催日 令和5年11月22日(水)
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・参加人数 24人

イ) ステップアップ研修(全道傾聴フォーラムへの参加)

- ・開催日 令和5年11月16日(土)
- ・場 所 道民活動センター(かでの2.7)
- ・参加人数 9人 ※内2人はオンラインで参加

ウ) 石狩地区ボラネットスキルアップ研修会

- ・開催日 令和5年12月6日(水)
- ・場 所 特別養護老人ホーム東部緑の苑(北広島市)
- ・参加人数 6人

エ) 活動実績(再掲)

5個人に対し、延べ110人(前年度比17人増)が活動しました。

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、活動事例を収集・紹介し、自治会担当者からの個別な相談への対応を通して、当事業への取り組みを働きかけました。

①愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数			対象世帯数			ボランティア延人数		
	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減
江別	16自治会	15自治会	1自治会	446世帯	384世帯	62世帯	625人	544人	81人
野幌	27自治会	26自治会	1自治会	696世帯	548世帯	148世帯	1,101人	997人	104人
大麻	29自治会	24自治会	5自治会	597世帯	492世帯	105世帯	788人	723人	65人
計	72自治会	65自治会	7自治会	1,739世帯	1,424世帯	315世帯	2,514人	2,264人	250人

②地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数			実施事業数		
	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減
江別	24自治会	19自治会	5自治会	65回	50回	15回
野幌	26自治会	18自治会	8自治会	84回	54回	30回
大麻	27自治会	16自治会	11自治会	83回	51回	32回
計	77自治会	53自治会	24自治会	232回	155回	77回

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

①赤い羽根共同募金運動への協力

令和5年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 6,151,155円(前年度比124,565円減)

★当協議会への共同募金助成状況 ※除雪派遣サービス令和4年度は歳末たすけあい助成

区分	事業名	助成額		
		5年度	4年度	増減
市町村 地域助成	愛のふれあい交流事業	0円	200,000円	△200,000円
	広報誌「幸せな社会」発行	600,000円	755,510円	△155,510円
	除雪派遣サービス	599,919円	0円	599,919円
道地域 助成	ボランティア団体育成	500,000円	200,000円	300,000円
	ワークキャンプ	110,000円	110,000円	0円
合	計	1,809,919円	1,265,510円	544,409円

②歳末たすけあい運動への協力

令和5年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和5年12月、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4,197,953円(前年度比196,026円減)

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区分	5年度		4年度		増減	
	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額
生活支援 世帯	625世帯	2,114,160円	615世帯	1,515,780円	10世帯	598,380円

★福祉事業への助成状況

助成先	5年度		4年度		増減	
	団体数	助成金額	団体数	助成金額	団体数	助成金額
障がい児・者団体及びその家族会	3団体	210,000円	1団体	55,000円	2団体	155,000円
地域福祉推進団体	0団体	0円	2団体	60,000円	△2団体	△60,000円
計	3団体	210,000円	3団体	115,000円	0団体	△95,000円

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

なし

※昨年度は除雪派遣サービス事業へ750,000円

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

【開催内容】

- ・開催日 令和5年7月16日(日)
- ・開催場所 総合社会福祉センター
- ・来場者数 約1,500人
- ・内容 社会福祉功労者顕彰並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付式、ふれあいバザー、ふれあい演芸大会、ふれあいビアガーデン、体験型福祉機器展示、点字・要約筆記体験、よさこい演舞 など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

【活動備品の貸出】

- ・テント 4施設 13団体
- ・机 4施設 12団体
- ・椅子 4施設 9団体

【社会貢献活動への協力】

- ・株式会社ガイナム(緊急支援用食料寄贈)
- ・江別グリーンライオンズクラブ(緊急支援用お米券寄贈)
- ・後藤建設株式会社カーブス事業部(緊急支援用食料寄贈)
- ・江別ロータリークラブ、札幌地方自動車整備振興会江別支部(車いす点検・整備)
- ・江別ロータリークラブ(車いす寄贈)
- ・角山開発株式会社(緊急支援用食料寄贈)
- ・北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社(福祉施設への清涼飲料水寄贈)
- ・カーブス野幌店、大麻駅前店(緊急支援用食料寄贈)
- ・JR北海道江別駅(福祉施設への飲料水寄贈)
- ・江別建設業協会(高齢者宅の除雪作業)

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域福祉活動に関する疑問や悩みへの情報提供、地域交流活動に活かせるレクリエーション技術や取り組み事例の共有を行い、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修を開催しました。

【開催内容】

- ・開催日 令和6年2月29日(木)
- ・場所 総合社会福祉センター
- ・内容 新型コロナウイルス感染症“5類移行”後の地域活動
情報提供「新型コロナウイルス感染症“5類移行”後の地域活動」
事例紹介「地域交流の集い活動アイデア紹介」
グループ交流
- ・講師 錦町新生自治会 福祉部長 小林正枝氏
- ・参加者数 44名(30自治会)

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ(福祉施設介護体験学習)の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、実際に福祉の現場を見て、知って、感じるキャリアビジョンを広げる機会として開催しました。冬のワークキャンプについては、企画・募集を行いました。申込が無く中止しています。実施においては感染対策を行い、福祉施設での体験学習を実施しました。

【開催内容】

開催期間	参加者数	場所
令和5年8月 2日(水)	1人	盲人養護老人ホーム 恵明園
8月 9日(水)	2人	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
令和6年1月 9日(火)	中止	盲人養護老人ホーム 恵明園
10日(水)		特別養護老人ホーム 静苑ホーム
計	3人	(前年度比参加者数増減なし)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

施設での受け入れが難しく、①ワークキャンプのみの実施としました。

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

体験用具や車いすの貸し出し、障がいの当事者団体等の協力を得た学習機会など、総合学習へ協力しました。また、大学の講義にて地域福祉やボランティアについて講話しました。

【内容】

- ・疑似体験セット貸出 小学校8校 2団体
- ・車椅子体験 小学校7校
- ・視覚障がいの学習 小学校2校
- ・大学での講話 大学1校

(4) いきいきシニアスクールの開催

シルバーウィーク行事の一環として、江別市高齢者クラブ連合会と共催し「いきいきシニアスクール」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で外出機会や運動機会の減少が課題になっていると聞き取りをしたことから、仲間づくりや楽しく体を動かすスポーツとして「モルック」を各高齢者クラブへ紹介する為、体験会を企画しました。

【開催内容】

- ・開催日 令和5年9月26日(火)
- ・場所 総合社会福祉センター
- ・講師 北海道大学モルックサークル レタラカムイチェブ
- ・参加人数 28人

基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

①福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和5年11月1日～令和6年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口15,400円）

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	27,280円	16,720円	基本料金 44,000円
同均等割課税世帯	21,120円	22,880円	
同均等割・所得割課税世帯	14,960円	29,040円	

【実施状況】

地 区	5年度		4年度		増 減 (A) - (B)
	利用世帯数 (A)	(A)の内、 新規	利用世帯数 (B)	(B)の内、 新規	
江 別	300世帯	46世帯	315世帯	68世帯	△15世帯
野 幌	410世帯	53世帯	414世帯	75世帯	△ 4世帯
大 麻	241世帯	36世帯	245世帯	69世帯	△ 4世帯
計	951世帯	135世帯	974世帯	212世帯	△23世帯

②除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保を行い、利用希望のあった全対象世帯にサービスを提供しました。今年度は、一般企業との協働で除雪を行うモデルケースを実施しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数		
	5年度	4年度	増 減
江 別	58世帯	58世帯	0世帯
野 幌	58世帯	51世帯	7世帯
大 麻	59世帯	59世帯	0世帯
計	175世帯	168世帯	7世帯

③「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置しました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協日より「幸せな社会」とホームページに掲載しました。

【掲載事業者数】 30事業者掲載（前年度より2件増）

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配達時に安否確認を行い、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	高齢者世帯 (ひとり世帯)			高齢者世帯 (夫婦等世帯)			障がい者世帯 (ひとり世帯)			高齢者+ 障がい者世帯			合計		
		5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減	5年度	4年度	増減
江別	世帯数	50	46	4	4	6	△2	1	1	0	0	0	0	55	53	2
	食数	50	46	4	8	12	△4	1	1	0	0	0	0	59	59	0
野幌	世帯数	36	39	△3	9	10	△1	2	2	0	0	2	△2	47	53	△6
	食数	36	39	△3	18	20	△2	2	2	0	0	4	△4	56	65	△9
大麻	世帯数	34	44	△10	2	5	△3	3	2	1	0	0	0	39	51	△12
	食数	34	44	△10	4	10	△6	3	2	1	0	0	0	41	56	△15
合計	世帯数	120	129	△9	15	21	△6	6	5	1	0	2	△2	141	157	△16
	食数	120	129	△9	30	42	△12	6	5	1	0	4	△4	156	180	△24

【年間配食実績】 45,917食（前年度比4,473食減） ※R4 50,390食

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 13人 ガイドヘルプ利用者数 21人

【利用実績】

利用内容	件数		
	5年度	4年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	81件	95件	△14件
医療機関への相談又は受診	64件	101件	△37件
一般市民向けの各種行事への参加	9件	12件	△3件
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	100件	129件	△29件
その他の外出	230件	174件	56件
計	484件	511件	△27件

(4) 福祉機器の貸与

①福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数	貸与件数（延貸与月数）		
		5年度	4年度	増減
車椅子	132台	1,098件	969件	129件
介護用手動ベッド	8台	72件	72件	0件
介護用電動ベッド	49台	496件	496件	0件
歩行器	29台	171件	209件	△38件
計		1,837件	1,746件	91件

②福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しています。

【設置状況】

区分	江別地区	野幌地区	大麻地区	合計
4年度までの設置数	5件	4件	3件	12件
5年度設置数	0件	0件	0件	0件
5年度返却数	0件	0件	0件	0件
計	5件	4件	3件	12件

(5) 北光保育園の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園を運営しました。

【保育児童数】

区分	5年度年齢別保育児童数					4年度	増減
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
保育所名							
児童数	6人	4人	3人	8人	21人	21人	0人

基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

①行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ・くらすボ相談支援員が、事業の進め方や相談内容等について支援調整会議を毎週開催し協議。
- ・江別市成年後見支援センターの運営状況、受任調整会議の開催内容、市長申立案件について協議。
- ・生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議。
- ・総合社会福祉センター改修箇所にかかる修繕費について協議。
- ・令和6年新年交礼会協賛。

②部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会 議 名	開催回数	開催年月日
総務部会	1回	令和5年 9月25日
地域福祉部会	1回	令和5年 9月25日
合同（総務・地域福祉）部会	1回	令和5年 9月25日
広報編集委員会	4回	令和5年 6月 9日 令和5年 9月 8日 令和5年12月 7日 令和6年 3月 7日
福祉金庫管理委員会	1回	令和5年 5月22日
江別市成年後見支援センター 受任調整会議	5回	令和5年 6月 9日 令和5年 7月18日 令和5年 9月13日 令和5年10月17日 令和6年 3月19日

③役職員などの研修・資質向上

ア) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

令和5年度は、高齢者などの権利を擁護し、暮らしの安心を支えるための重要な取り組みとなっている成年後見制度の理解を深めることを目的に、成年後見制度普及啓発の一環として開催する一般市民を対象とした成年後見制度講演会を当研修に位置付けし実施しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人 数
令和5年度役員・評議員研修 (司法書士による制度解説、事例解説を 通して成年後見制度を学ぼう!)	令和5年11月11日	江別市	25人

イ) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣またはオンライン参加し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人 数
令和5年度北海道災害ボランティアセンター WEB講座(新任者向け)	令和5年 4月19日	オンライン	1人
SCカフェ10	令和5年 5月18日	オンライン	1人
令和5年度北海道災害ボランティアセンター WEB講座	令和5年 5月30日	オンライン	1人
生活福祉資金特例貸付に係る説明会	令和5年 6月29日	オンライン	1人
令和5年度全道社協職員研究協議会	令和5年 8月 1日	札幌市	2人
個別避難計画自治会説明会	令和5年 8月 3日	江別市	2人
SCカフェ12	令和5年 8月 3日	オンライン	1人
家計改善支援事業のついでの情報交換・勉強会	令和5年 8月22日	オンライン	2人
認知症体験VR研修会	令和5年 8月29日	江別市	5人
令和5年度日常生活自立支援事業指導監督者・ 専門員研修	令和5年10月11日	オンライン	4人
北海道生活困窮者支援ネットワーク(どうねっ と)設立記念シンポジウム	令和5年10月13日	札幌市	2人
令和5年度相談支援機能向上研修会	令和5年11月 6日	札幌市	1人
第10回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	令和5年11月11日 ~12日	札幌市	3人
令和5年度生活困窮者自立支援制度啓発セミ ナー	令和5年11月13日	旭川市	1人
北海道社会福祉士会生活困窮者支援セミナー	令和5年11月25日	小樽市	1人
生活支援コーディネーター養成研修【応用編】	令和5年12月 6日	札幌市	1人
SCカフェ13	令和5年12月13日	オンライン	1人
令和5年度石狩管内社協職員連絡協議会第1 回研修会	令和5年12月15日	札幌市	4人
令和5年度ボランティア強化セミナー	令和6年 1月19日	オンライン	1人
令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成 研修	令和6年 1月23日	オンライン	2人
令和5年度孤独・孤立対策連携推進事業「ひき こもり支援セミナー」	令和6年 1月29日	札幌市	1人
SCカフェ14	令和6年 2月 5日	オンライン	1人
生活困窮者自立支援制度都道府県研修	令和6年 2月 8日	札幌市	1人
家庭裁判所との家事連携	令和6年 2月 8日	オンライン	1人
江別市社会福祉士会「ESSA」研修	令和6年 2月 9日	江別市	4人

生活困窮者自立支援全国ネットワーク第4回 家計改善支援部会研修	令和6年 2月17日	オンライン	1人
令和5年度市町村ボランティアリーダー学習会	令和6年 2月17日	札幌市	1人
座間市・船橋市・足立区生活困窮者自立支援事 業視察研修	令和6年 2月20日 ～21日	東京都 神奈川県 千葉県	1人
全国社会福祉協議会 任意後見研修	令和6年 2月26日	オンライン	2人
生活困窮者自立統計システムについての情報 交換・勉強会	令和6年 3月 1日	オンライン	1人
生活支援コーディネーター養成研修【重層編】	令和6年 3月 7日	札幌市	1人
「住まい支援システム構築に関するモデル事 業」説明会	令和6年 3月13日	オンライン	1人
北海道社会福祉士会困窮者支援セミナー	令和6年 3月17日	オンライン	1人
令和5年度石狩管内社協職員連絡協議会第2 回研修会	令和6年 3月18日	千歳市	2人
SCカフェ15	令和6年 3月28日	オンライン	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	5年度	4年度	増 減	
第1種会員会費 (世帯会費)	37,809 世帯	38,065 世帯	△256 世帯	1 世帯 年額 300 円
第2種会員会費 (施設会費)	34 施設	35 施設	△1 施設	50 人未満 5,000 円 50 人以上 7,000 円 100 人以上200 人未満 10,000 円
第3種会員会費 (団体会費)	94 団体	94 団体	0 団体	1 団体 3,000 円 ※ボランティア団体 は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	676 個人・事業所	686 個人・事業所	△10 個人・事業所	1 口 1,000 円以上

②社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用しました。

	金 額	内 訳 (5年度末)
① 4年度末残高	133,171,461 円	
② 4年度事業に充当した額からの戻入額	0 円	・政府保証債 100,000,000 円
③ 5年度の寄付金受入額 ※寄付件数61件	769,282 円	・定期預金 30,000,400 円 (道央農協) 10,000,000 円
	・内訳	(室知信金) 10,000,000 円
	・篤志寄付 716,155 円 ・つもり寄付 53,127 円	(北央信組) 10,000,400 円
④ 定期預金(北央)5年度中利息	200 円	・普通預金 2,248,543 円
⑤ 5年度事業への充当額	△ 1,692,000 円	
5年度末残高(①+②+③+④-⑤)	132,248,943 円	合 計: 132,248,943 円

【利息(普通預金)】

	金 額
① 4年度末残高	4,069,847 円
② 5年度内政府保証債の利息	1,662,000 円
③ 5年度内普通預金の利息	17 円
④ 5年度内定期預金の利息	233 円
⑤ 5年度事業への充当額	△ 4,000,000 円
5年度末残高(①+②+③+④-⑤)	1,732,097 円

③共同募金からの助成金の確保 (P. 10参照)

④一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として寄付金を活用し、指定寄付の一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団からの10万円の寄付金は、ボランティア活動の推進に、江別市高齢者クラブ連合会(女性部)からの10万円の寄付金は、高齢者疑似体験セットの購入に活用しました。

【寄付取扱実績】 件数 28件、寄付金額 651,669円

⑤各種事業コストの検討

江別市へ過年度分消費税相当額の対応について申し入れしました。

江別市へ令和5年度委託事業契約金額に消費税を追加する変更契約を実施しました。

(3) 事務事業の改善

【主な改善事項】

- ・総合社会福祉センター西側駐車場(来館者用)を整備。
- ・消費税課税事業者としての対応を整備。

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者が集う交流の場として運営しました。

また、利用しやすい環境整備の一環として、西側駐車場の整備を実施しました。

【月別利用状況】

月	利用者数			月	利用者数		
	5年度	4年度	増減		5年度	4年度	増減
4	3,136人	2,991人	145人	10	3,083人	3,104人	△21人
5	2,948人	2,574人	374人	11	3,394人	2,861人	533人
6	3,361人	2,993人	368人	12	2,947人	2,505人	442人
7	2,641人	2,501人	140人	1	2,187人	1,932人	255人
8	2,777人	2,284人	493人	2	2,616人	2,506人	110人
9	3,372人	2,906人	466人	3	2,997人	3,059人	△62人
計					35,459人	32,216人	3,243人
累計 (昭和57年度～令和5年度)					2,376,710人		

(5) 防災・災害対策の推進

- ・懸案事項であった防火設備（防火戸）感知器連動化修繕工事を実施しました。
- ・令和5年10月4日（水）と令和6年3月29日（金）に、総合社会福祉センター職員による火災を想定した避難訓練を実施しました。

(6) 江別市避難行動要支援者個別避難計画の作成支援（市受託事業）

災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者等の避難行動要支援者の個別避難計画について作成支援しました。

業務内容	件数
個別避難計画作成に関する一式の発送業務	117件
個別避難計画作成業務	33件

(7) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・43個別実践事業について、令和4年度事業評価を実施しました。

令和4年度はコロナ禍で、これまで福祉の相談やサービス利用したことのなかった人たちから生活福祉資金特例貸付や生活困窮状態にある人からの相談が多く寄せられ、貸付相談等を通じて表面化した生活困窮課題に対しては、くらしサポートセンターえべつへ繋ぎ、返済負担を抱えながらも生活の立て直しができるよう必要に応じて家計改善事業、メンタルケアなどを通じて支援したことや、権利擁護事業において、地域連携ネットワークの中心となる中核機関業務を新たに受託し、成年後見制度の利用促進に努めたことが高い評価を受けました。

一方、人と接したり、ふれあいを推進する活動はコロナ禍で活動実績は低迷していますが、非接触型ボランティアの推進やボランティア団体間の連絡ツールとしてICT活用といった取り組みを進めました。

その結果、基本6計画全て「評価3」、個別実践事業では43事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内、6事業が「評価4」となりました。(計画全体では49事業だが、感染拡大防止のため中止とした事業もあるため評価対象は43事業)

【令和4年度基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果										
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [生活困窮者自立支援事業など12事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ボランティア活動の基盤整備など5事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [愛のふれあい活動など4事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ワークキャンプの開催など2事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [給食サービス事業など7事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td style="background-color: #cccccc;">3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [社会福祉基金の積立・運用など13事業]						5	4	3	2	1
5	4	3	2	1							

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

①三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開 催 日		
令和5年 4月14日（金）	令和5年 5月26日（金）	令和5年 6月16日（金）
令和5年 7月13日（木）	令和4年 8月 7日（月）	令和5年 9月14日（木）
令和5年10月16日（月）	令和5年11月16日（木）	令和5年12月 8日（金）
令和6年 1月17日（水）	令和6年 2月 9日（金）	令和6年 3月 7日（木）

②理事会 6回

開 催 日		
令和5年 4月 3日（月）	令和5年 6月 8日（木）	令和5年 6月26日（月）
令和5年10月12日（木）	令和5年12月13日（水）	令和6年 3月13日（水）

③評議員会 3回

開 催 日		
令和5年 6月26日（月）	令和5年10月25日（水）	令和6年 3月25日（月）

④ 監事監査 4回

開 催 日		
令和5年 5月25日（木）	令和5年 8月28日（月）	令和5年12月 8日（金）
令和6年 3月 5日（火）		

⑤ 評議員選任・解任委員会 3回

開 催 日		
令和5年 6月13日（火）	令和5年 7月20日（木）	令和5年10月16日（月）

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者】

- ・団体推薦 表彰 16人 感謝 3人
- ・寄付（寄贈） 感謝 3団体

(3) 研修事業・講習会などへの参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会

【開催内容】

- ・開催日 令和5年11月2日(木)
- ・場所 江別市民会館
- ・参加者 1人
- ・内容 ボラネットスキルアップ事業について、ボランティア愛ランド in 北海道の再開について等

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会

【開催内容】

- ・開催日 令和5年12月6日(水)
- ・場所 特別養護老人ホーム東部緑の苑 他
- ・参加者 2人
- ・内容 講演「地域に根差した社会福祉法人北ひろしま福社会の取り組みについて」

③安全運転管理者等講習

【開催内容】

- ・開催日 令和5年6月30日(金)
- ・場所 江別市民会館
- ・参加者 1人

④甲種防火管理新規講習

【開催内容】

- ・開催日 令和5年7月4日(火)～5日(水)
- ・場所 札幌市民防災センター
- ・参加者 1人

(4) 障がい児者団体等の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、就労系の4事業所の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売商品】 ぼかし、固形石鹸、手芸品など

(5) 福祉団体・ボランティア団体PRスライドショーの実施

ふれあい福祉の広場開催に併せ、スライドショーにより参画団体のPRを実施しました。

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 6社 広告料 95,000円

